



駅から、街から、未来をつくろう。

2020年3月26日
東日本旅客鉄道株式会社
横浜支社

川崎駅西口開発計画 2021年4月全体完成 街区名称を「KAWASAKI DELTA」に決定 ～ 大規模複合型まちづくりによる広域ハブ拠点が生じます ～

JR 東日本グループは、グループ経営ビジョン「変革 2027」のもと、「住んで、働いて、訪れて良かった」と感じていただける「くらしづくり（まちづくり）」を進めています。

本計画は、国際的な先端産業・研究開発都市へと進化する川崎市において、「川崎駅西口大宮町地区地区計画」（再開発等促進区、1999年12月決定）に基づき進めている、ビジネス・宿泊・商業機能の大規模複合型まちづくりです。

この度、本計画地全体の街区名称を「KAWASAKI DELTA（カワサキデルタ）」に決定し、2021年4月に全体完成を迎えます。街区には「JR 川崎タワー オフィス棟・商業棟」と「ホテルメトロポリタン 川崎」、歩行者デッキ上の中央広場「デルタプラザ」による構成とします。

外観イメージ（鳥瞰）



1. 街区名称など

【「KAWASAKI DELTA」に込めた想い】

川崎は多摩川の河口近く、三角州（デルタ）にできた都市であり、その地名は「川」が多摩川を、「崎」はデルタを意味します。また、水辺／都市／里山といった多様な3つの風景が川崎の魅力となっています。

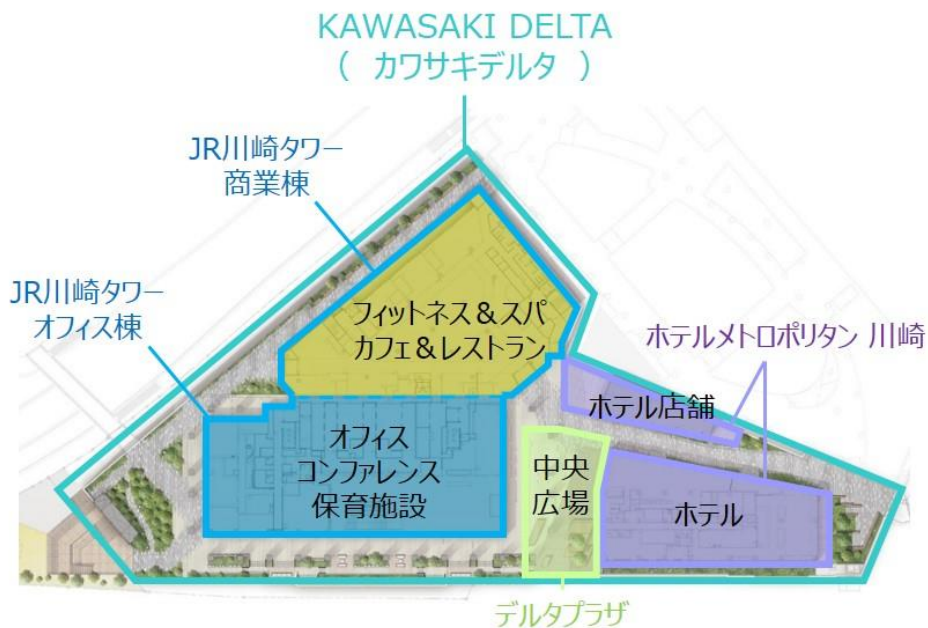
そのような川崎の歴史や魅力を踏まえ、本計画地の三角形の街区形状に象徴性を見出し「KAWASAKI DELTA」を街区名称としました。この象徴的な三角形の街区で、多様なヒト・モノ・コトが出会い、掛け合わせり、新たな価値・未来が生まれる場所になってほしいという想いを込めています。

ロゴデザインは、三角州の形状と KAWASAKI の「K」をモチーフに、「水辺／里山」をイメージした緑がかった青と、「都市」をイメージしたグレーによるカラーパターンで構成しています。

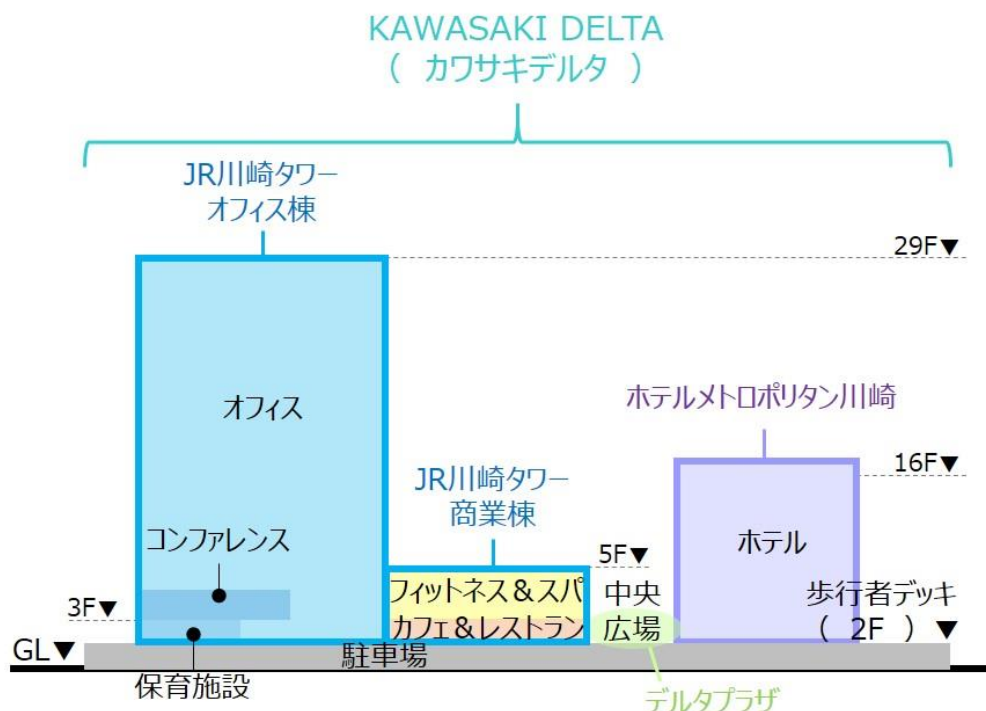
名称・ロゴ



街区構成_平面図



街区構成_断面イメージ



2. 歩行者ネットワーク

本計画地全体を覆う歩行者デッキや近隣街区へ渡る歩行者専用道路等により、周辺市街地と繋がる安全・快適な歩行者ネットワークが、2021年4月の街区全体完成に伴い、新たに誕生します。

歩行者デッキ上には、中央広場「デルタプラザ」などのオープンスペースや多様なレストスペース、緑豊かな回遊空間を計画し、利用者の交流・憩いの場となることを目指します。

【ランドスケープデザインについて】

東西に長く伸びる川崎市は、夜景の美しい臨海部～都市部～緑豊かな丘陵地まで、多様性に溢れる風景が「川崎らしさ・魅力」を形作っています。本計画では、都市の玄関口としてシティプロモーションを意識し、計画地全体を川崎市に見立て、「多摩川沿いを巡りながら川崎の多様な風景（水辺／都市／里山）に出会うような」ランドスケープとします。

多摩川の川筋をイメージした舗道「多摩川ペイブ」を、計画地を横断するように整備します。「多摩川ペイブ」上に、川崎市や多摩川の風景に纏わるキーフレーズを刻印した「川崎・多摩川タグ」を散りばめ、地域の魅力を紹介する回遊歩行空間とします。「多摩川ペイブ」沿道には、水辺をイメージしたドライミストによる水景や、地域の在来種を織り交ぜた植栽計画を施します。

歩行者デッキ上アプローチ「多摩川ペイブ」①



「川崎・多摩川タグ」床刻印例
(多摩川ペイブ上に配置)



歩行者ネットワーク

(凡例)

赤字：本計画の新設デッキ
青字：既存デッキ



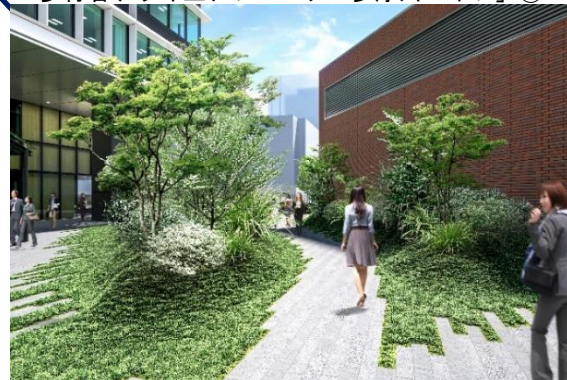
中央広場「デルタプラザ」



歩行者デッキ上アプローチ「多摩川ペイブ」③



歩行者デッキ上アプローチ「多摩川ペイブ」②



3. JR 川崎タワー

【 オフィス棟 】

「JR 川崎タワー オフィス棟」が、2021 年 4 月の街区全体完成に伴い、1 万人規模の新たなビジネス拠点として誕生します。基準階貸室面積 約 2,600 ㎡（総貸室面積 約 66,000 ㎡）を有する川崎エリア最大級の大規模オフィスです。

「JR 川崎タワー オフィス棟」内には、認可保育施設（約 400 ㎡）が 2021 年 5 月 1 日に開園予定です。当社グループが進める「HAPPY CHILD PROJECT」の一環として、子育て支援から暮らしやすい沿線づくりを実現していきます。

（ ステーションコンファレンス川崎 ）

当社グループが展開する「ステーションコンファレンス」の 4 施設目となる「ステーションコンファレンス川崎」が、2021 年 6 月 1 日、「JR 川崎タワー オフィス棟」内に開業します。最大 340 ㎡（シアター形式で 270 名収容）で利用可能な大会議室の提供や、バリエーション豊富なケータリングメニューによるパーティー対応、同街区内の「ホテルメトロポリタン 川崎」との連携による宿泊型研修の誘致など、様々な利用シーンに活用していただける利便性の高い施設を目指します。

内装デザインは、同街区内「ホテルメトロポリタン 川崎」のロビー空間のイメージを意識したラウンジなど、ホテルライクでグレード感のある空間とします。

室構成	部屋数：最大 7 室 室面積：最小 30 ㎡～最大 340 ㎡
所在地	川崎市幸区大宮町 1 番地 5 カワサキデルタ JR 川崎タワー オフィス棟 3 階 (川崎駅西口から徒歩 3 分)
運営会社	株式会社ジェイアール東日本ビルディング
予約受付	2020 年夏頃 開始予定

大会議室（パーティー利用イメージ）



中会議室（セミナー利用イメージ）



ラウンジ



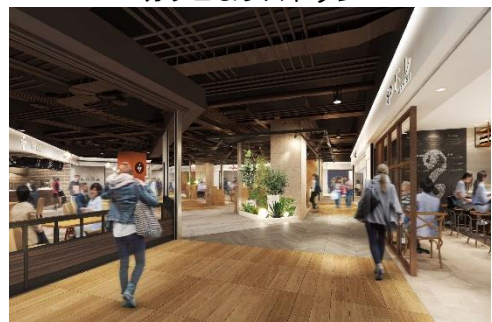
受付ロビー



【 商業棟 】

カフェ&レストラン（約 2,500 ㎡）と大型フィットネス&スパ（約 4,000 ㎡）で構成され、街区全体完成の後に順次開業予定です。

カフェ&レストラン

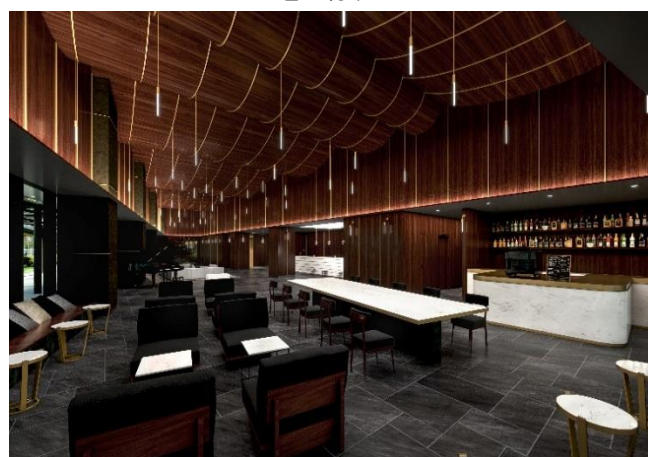


4. ホテルメトロポリタン 川崎

ホテルメトロポリタン 川崎が、街区全体完成に先立ち、2020年5月18日に先行開業します。川崎エリア最大級の客室数を有し、定期的な音楽イベントの開催や館内アートの入替えなど、音楽・アートが楽しめるシティホテルです。

ロビーカフェ

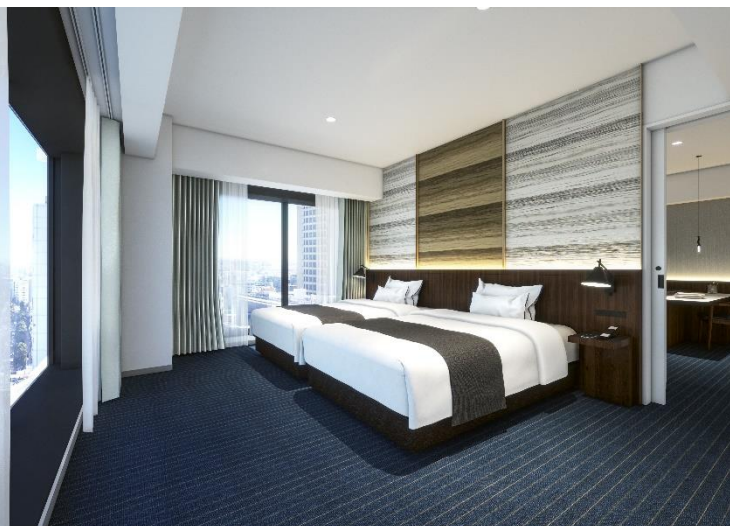
客室	全 304 室 スイートルーム 1 室 (約 60 m ²) ツインルーム 101 室 (約 30～31 m ²) クイーンルーム 202 室 (約 23～31 m ²)
付帯施設	オールデイダイニング「Terrace and Table」 ランドリーラウンジ、ミーティングルーム、ジム、店舗
連絡先	TEL 044-533-1111 WEB http://kawasaki.metropolitan.jp/



「Terrace and Table」



スイートルーム



※画像等はすべてイメージです。

※計画等は今後変更になる場合がございます。

< KAWASAKI DELTA 全体概要 >

	JR 川崎タワー オフィス棟	JR 川崎タワー 商業棟	ホテルメトロポリタン 川崎
事業主体	東日本旅客鉄道株式会社		
所在地	神奈川県川崎市幸区大宮町 1 番地 5		
敷地面積	約 12,400 m ²		
延床面積	約 137,000 m ²		
階数 高さ	地上 29 階／地下 2 階 約 128m	地上 5 階／地下 1 階 約 27m	地上 16 階 約 59m
施設概要	オフィス貸室 : 約 66,000 m ² コンファレンス : 約 1,100 m ² 保育施設 : 約 400 m ² 駐車場 : 約 200 台	カフェ&レストラン : 約 2,500 m ² フィットネス&スパ : 約 4,000 m ²	客室数 : 304 室 店舗 : 約 500 m ²
設計・監理	株式会社 JR 東日本建築設計 [構造設計協力 (オフィス棟) : 大成建設株式会社一級建築士事務所] [ホテルインテリアデザイン監修 : SUPPOSE DESIGN OFFICE Co., Ltd.]		
施工	大成建設株式会社		
運営会社	オフィス・コンファレンス : 株式会社ジェイアール東日本ビルディング カフェ&レストラン : 株式会社ジェイアール東日本ビルディング ホテル : 日本ホテル株式会社 フィットネス&スパ : JR 東日本スポーツ株式会社		
スケジュール (予定)		2020 年度	2021 年度
	ホテルメトロポリタン 川崎	▼5月18日 先行開業	
	KAWASAKI DELTA		▼4月 街区全体完成
	歩行者ネットワーク		▼4月 使用開始
	認可保育施設		▼5月1日 開園
	ステーションコンファレンス川崎		▼6月1日 開業
	※ JR 川崎タワー 商業棟 (カフェ&レストラン、フィットネス&スパ) は街区全体完成後、順次開業予定		

位置図



配置図

